

2021年9月21日

## 中国における省エネ規制の実施状況について

### I. 省エネ規制

国家発展改革委員会は、定例の記者会見の席で、中国における本年度上半期のエネルギー消費量について、青海、寧夏、広西、広東、福建、新疆、雲南、陝西、江蘇の9つの省では、前年同時期と比較して、目標としていた減少ではなく、逆に増加した、と発表しました。また、同じく前年同時期と比較して、上半期のエネルギー消費量は低下したものの、目標とする低下率を達成できなかった省が10省あったことから、全国の省エネ規制は実態として厳しい状況となっている、と発表しました。

省エネ規制を確実に実施するために、中国各地の地方政府は様々な活動を実施しています。以下に各省の取り組みについて、規制の対象、内容についてまとめました。

#### 1. 雲南省

対象：鉄鋼、セメント、黄リン、アルミニウム、工業用シリコン、石炭等の業種  
時差生産をして、電力使用量を減らして、生産量を削減しています。特に、工業用シリコンと黄リン業界は、90%生産量を削減しました。

#### 2. 江蘇省

対象：トータルエネルギー消費量が年間5万トン以上の企業  
2021年に、省独自の省エネ監視活動を実施しました。この対応のため、江蘇省の一部の炭酸ソーダ会社は9月に減産する計画を立てており、稼働率は約20%低下する見込みです。鉄鋼製造企業も近い将来減産する予定です。

#### 3. 内モンゴル自治区

対象：ポリ塩化ビニル、メタノール、エチレングリコール等の業種  
2021年以降、新規の増産申請は承認されなくなります。

#### 4. 広東省

対象：エネルギー消費量が減少ではなく逆に増加している市の鉄鋼、化学、非鉄金属、セメント、ガラス等の業種  
新設や増設するには、省エネ審査を申請し、許可される必要がありますが、上記の対象業種については、省エネ審査が中断されました。この結果、当面の間、設備の新設や増設はできなくなります。

## 5. 四川省

対象：赤色警告エリア（エネルギー消費量が多い地域）

省の担当者は、対象の地域の企業の責任者とそれぞれ面会し、エネルギー消費を抑制する改善提案を提出するよう要求する計画です。

## 6. 浙江省

対象①：寧波市、舟山市

化石エネルギーへの高依存性を緩和するために、石油化学、鉄鋼、化学品等の生産能力が厳しく管理され、エネルギー消費量の高い製造工程は、エネルギー消費量が低い地域に移転する計画です。

対象②：紹興市、湖州市、嘉興市、温州市

繊維、印刷・染色、化学繊維、プラスチック製品などの生産量は、厳しく管理されています。

## II. その他の規制

### 1. 江蘇省など

電力消費量を15%削減する、との通知を発出した、との報告があります。

### 2. 雲南省、内モンゴル自治区、広西省など

電力不足状態が継続中であり、電力削減を目的とした調整は常態になりつつあります。

### 3. 環境保護

環境保護の取り組みもさらに強化されています。

## III. 今後の見通し

省エネ規制と環境保護規制が同時に施行されると、秋と冬の生産制限（中国では暖房に石炭ストーブを使用するのでPM2.5が排出され大気汚染に繋がっている）、工場の石炭を使用した火力発電の制限の時期も近づいていることから、「化学品の主要な生産地における稼働率は低下し、そのため化学品の価格は上昇して、一部の製品は供給不足になる」可能性が見込まれます。

特に、中国の雲南省の黄リン生産量は中国全体の約51%を占めているため、生産量が90%減少すると、リン関連原料は少なくとも2021年9月～12月にタイトとなり入手にくくなることが予想されます。関連するお客様におかれてましては早めに対策を検討されることをお勧めします。

参考：<http://www.epwho.com/news/202109/13/196673.html>

以上